



インドネシア人に 日本を正しく理解してもらうために

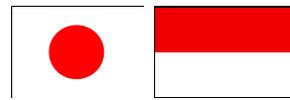


インドネシア進出サポート
小野耕司





自己紹介



- 1975/4～1981/6 ヤマハ(株)入社 インドネシア工場立上支援分野配属
- 1981/6～1987/3 インドネシア工場生産課長 電子鍵盤楽器の組立生産
- 1987/3～1995/7 インドネシア工場長 電子楽器、ピアノ、ギターの輸出拠点化
- 1995/7～2005/3 帰国、インドネシアを普及品の生産拠点化するプロジェクト
- 2005/3～現在 ヤマハ退職、インドネシア進出サポートコンサルタントとして独立
インドネシア語翻訳・通訳

静岡大学客員教授、専修大学客員講師

独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)専門家

独立行政法人 中小企業基盤整備機構アドバイザー

一般社団法人海外事業支援センター(OBAC)アドバイザー

一般財団法人海外産業人材育成協会(AOTS)講師

一般社団法人日本インドネシアビジネス協会(ABJI)理事

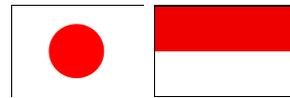
などを経歴し、これまでのインドネシア進出支援企業数は約100社



インドネシアとの
関わりも50
年になりました
た



セミナー要旨

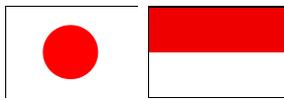


- 私はインドネシア駐在時代に、現地の幹部社員から、小野さんは会社のために生きているのか、と問われてショックを受けたことがあります。
- それに対してどのように答えたのかは良く覚えていませんが、自分の気持ちを上手く伝えられなかったことだけは確かです。
- その後、インドネシアでインドネシア人と一緒に仕事をする際には、彼らのことを正しく理解するための努力と共に、我々日本人のことを正しく理解してもらうことも大事であると考えようになりました。
- このセミナーでは、インドネシア人にとって大事な、そして理解し易い、日本あるいは日本人とは何か、を考えてみます。
- [インドネシア語翻訳版スライド](#)も用意しました。 

参考スライド [インドネシア人と上手く付き合う秘訣](#)
[インドネシア人に好かれる日本人、嫌われる日本人](#)
[インドネシアに学んで欲しい日本の過ち](#)
[インドネシアを好きになる秘訣嫌いになる原因](#)



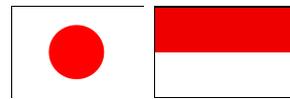
目次



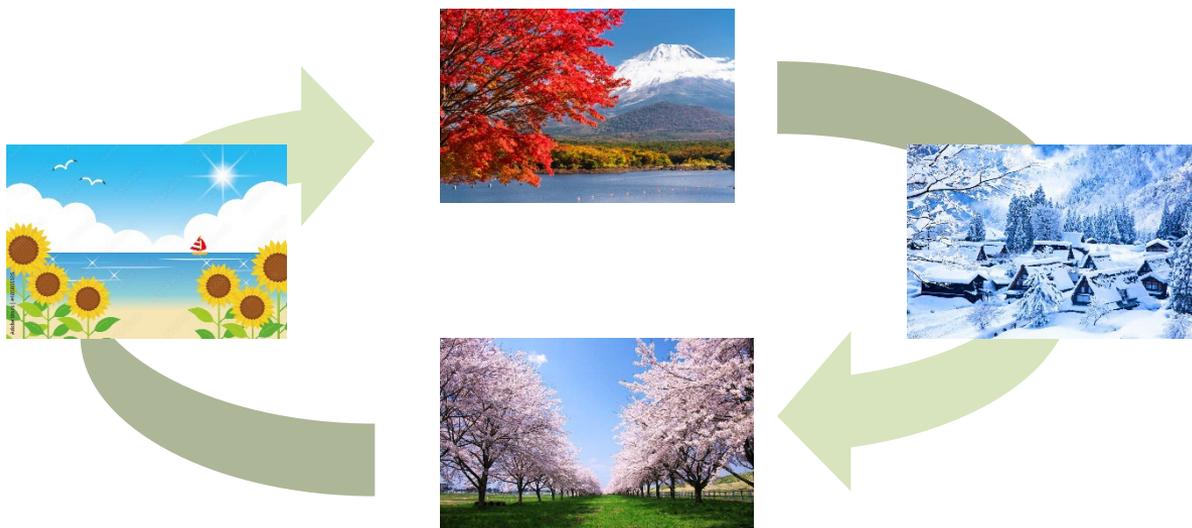
1. 時間厳守を重視する理由
2. ものづくりに優れている理由
3. 無宗教と感じさせる理由
4. 全ての日本人が名字を持つ理由
5. 日本人が英語が苦手な理由
6. インドネシア人と相性が良い理由
7. 有色人国家で唯一植民地にならなかった理由
8. 短期間で欧米列強に追い付けた理由
9. 終戦後奇跡の経済成長を遂げた理由
10. 戦後アメリカに追従する理由
11. 日本は輸出立国ではない理由
12. 長期の経済低迷を招いた理由
13. 男尊女卑、同性愛者異端扱いでない理由



1. 時間厳守を重視する理由

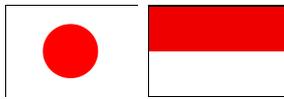


- 日本の四季は永くインドネシアに住んでいた人間にとって、非常に目まぐるしく変わる自然環境で、付いて行くだけで大変なものです。
- 太古の昔から、日本人はこの自然の変化、特に厳しい冬を生き抜くために、遅れることなく越冬の準備をして来ました。
- 逆に言うと、準備や冬支度に遅れると、死を覚悟しなくてはならない、厳しい生き方を強いられて来ました。
- 何万年かのこのような生き方が、遺伝子に刻まれて、生存本能として今でも時間厳守を重視しているのです。





2. ものづくりに優れている理由

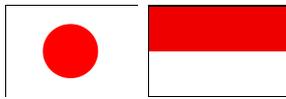


- 日本列島は中央を山脈が走っており、そこから多くの川が両岸の海に向けて激しく流れています。
- そのため、鉄道や自動車が登場する近代までは、大陸の様に馬車で貨物を遠くまで運ぶことが困難でした。
- 多くは人間が担いで運ぶため、工作物は出来るだけ軽く小さくすることが求められました。
- 特に雪で出歩くことが出来ない冬の間は、軽く小さくするための工夫に勤しんでいたようです。
- 長い歴史の中でのそのような工夫が、精密な製品を作ることに秀でた文化を生み出したようです。





3. 無宗教と感じさせる理由

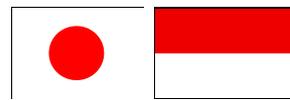


- 宗教と言われるものには、教祖、経典、戒律が揃っていますが、その点で日本において一番普及しているのは、6世紀に伝来した仏教で、日本人の約半数が仏教徒とされています。
- キリスト教は16世紀に伝来しましたが、現在でも信者が100万人を超えることは無いようです。
- 日本人の元祖は八百万の神々と言われ、全ての日本人は生まれた時点でその子孫であるとするのが神道の考え方です。
- 神道には教祖、経典、戒律が存在しないため、宗教では無く、信仰として日本人の心に生きているため、無宗教との印象を与えるのかもしれない。





4. 全ての日本人が名字を持つ理由



- 平安時代に公家が他家と区別する目的で使い始め、その後武家へと広がり、明治時代からは庶民も使用することが許されました。
- これにより一族の繋がりや血筋が明確になり、土地などの資産を受け継ぐ制度も構築されました。
- 元々は地名などが用いられていましたが、明治時代に庶民が名字を持つようになった際は、その土地特有の自然環境を表す漢字の組合せを採用したようです。



山、川、水



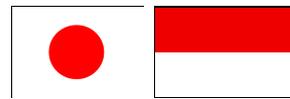
田、岡、坂



森、林、木



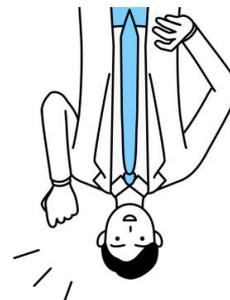
5. 日本人が英語が苦手な理由



- 日本語と二三の言語を除き、世界中の言語は主語＋動詞＋目的語で構成されたため、それらの言語の間では、荒っぽく言うと単語の置き換えで翻訳出来ます。
- しかし、日本語は主語＋目的語＋動詞と言うように構造が異なり、さらに『てにをは』と言う助詞を使うため、単語の置き換えだけでは意味不明な翻訳になってしまいます。
- これが日本人が英語だけでなく、外国語を習得する際の障害になり、逆に外国人が日本語を習得するさいの障害にもなっているのでしょう。
- 日本語は思考回路や精神構造に独特の影響を与えるとの説もあり、外国人が日本語を習得して、それでコミュニケーションをするようになると、別人のようになるとも言われています。

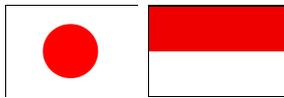


©DESIGNALKIE





6. インドネシア人と相性が良い理由



- 世界には、大陸国家、島嶼国家、半島国家の三種類の国があり、そのいずれかで国民性が分かれるとの説があります。
- 大陸国家は国境を接しているため、互いに奪い合うことで富を増やし、島嶼国家は海に囲まれた島の中で、互いに助け合い分け合うことで富を増やし、半島国家は接続する大陸国家からの迫害を巧みに避けることで、富を増やす歴史を築いて来たと言われています。
- 日本、台湾、フィリピン、そしてインドネシアは良く似た島嶼国家です。
- このことが、インドネシア人と日本人の相性が良いと言われる、一番の理由ではないかと考えられます。





7. 有色人国家で唯一植民地にならなかった理由

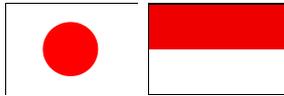


- 16世紀にスペインとポルトガルにより始められた植民地政策は、20世紀にかけて全世界に広がり、欧米列強による植民地支配、あるいはその影響を全く受けなかった有色人国家は、唯一日本だけでした。
- その理由は、戦国時代から江戸時代にかけての、武士軍団の圧倒的な強さと、世界最大の鉄砲の生産量であったことが、ローマ教皇が当時の日本に送った宣教師からの報告書に、『日本にだけは手を出すな』と記述されていたことから明らかです。
- さらに、徳川幕府が鎖国政策を敷いて、外国との交流を厳しく制限したことも、効果があったと言われています。





8. 短期間で欧米列強に追い付けた理由

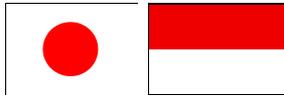


- 明治維新で開国した日本は、近代の文明において、イギリスの産業革命から100年の遅れを取っていました。
- しかしその遅れを僅か30年で挽回し、特に産業ならびに軍事面での近代化を成し遂げました。
- それを可能にしたのは、300年続いた江戸時代に、鎖国政策の隙間を縫って、特に長崎の出島から入って来る、オランダからの情報を基に、江戸幕府だけでなく、各藩もヨーロッパからの知識の習得に励んでいたことと、士農工商を問わず寺子屋などでの学習のお陰で、文盲が居なかったことだと言われています。
- 日本の近代化の基礎は江戸時代に作られていたのです。





9. 終戦後奇跡の経済成長を遂げた理由

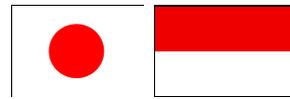


- 1945年の終戦当時、東京を始めとして多くの都市は焼け野原と化し、約300万人の日本人が命を亡くしました。
- しかし、1955年から1972年にかけては、年平均10%前後の経済成長を成し遂げ、1979年には米国の社会学者エズラ・ボーゲル氏による『ジャパン・アズ・ナンバーワン』と題する書籍も出されるほどでした。
- これを可能にしたのは、護送船団方式と称されるように、政府が民間企業を保護しながら輸出政策を推し進め、民間企業は終身雇用と年功序列で供給力を急増させたことです。
- 昭和の後半は、政府と国民が一つの火の玉のように回った時代でした。





10.戦後アメリカに追従する理由

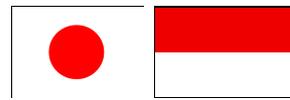


- 1945年に日本は日米戦争において無条件降伏し、その後7年間はアメリカの支配下に置かれました。
- 1952年にアメリカとの講和条約で、独立したように見えた日本ですが、7年間のアメリカの支配体制の下に実施された、日本国憲法の制定など多くの社会制度の変革は、実質的に日本をアメリカの従属国にするものでした。
- 日本の政治の基本方針を決める日米合同会議の存在や、多くの米軍基地の存在がそれを如実に物語っており、そのことで富を為す敗戦利得者が、長年にわたり政権与党の座を占めている自由民主党を中心に、日本をアメリカにとって都合の良い方向に誘導して来ました。
- これが、日本はアメリカ合衆国の51番目の州である、と言われる所以です。

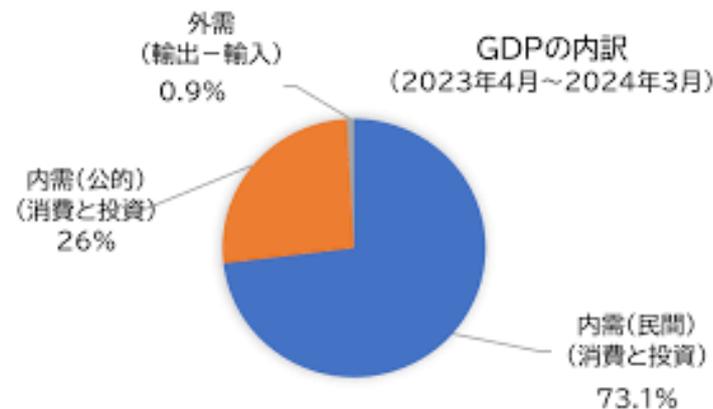




11.日本は輸出立国ではない理由

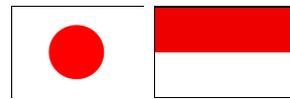


- 明治時代に外貨を稼ぐために絹織物の輸出が脚光を浴びたり、戦後は自動車や家電製品の輸出が日本の経済成長を支えているが如く、日本は輸出立国であると称することがあります。
- しかし、昨今の国内総生産GDPの内訳を見ると、国内の個人消費が最大の60%を占めており、輸出17%に対し輸入15%と純輸出は2%に過ぎません。
- 全世界218カ国の中でも総人口が1億人を超える国は15カ国のみで、日本は12番目にに入っています。
- 1億2千万人強の国民が、生産・消費・所得を通じて、約600兆円のGDPの60%を生み出しているのです。





12. 長期の経済低迷を招いた理由

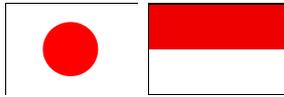


- 戦後の奇跡と言われた高度経済成長を成し遂げた日本は、1990年の東西冷戦の終結を境に、長い経済低迷の時代に入りました。
- この時期に行われたことは、構造改革と言う名の下の非正規雇用の導入や株式市場の外国資本への開放、そして国の赤字解消と言う名の下の緊縮財政と消費税の導入でした。
- これらの政策により日本は既に30年以上にわたる経済の低迷を続け、国民の生活は年々苦しくなっています。
- しかし、これらの政策により最大の利益を得ているのは、アメリカの投資家であることから、日本はアメリカのATMであると揶揄されることが真実なのかもしれません。



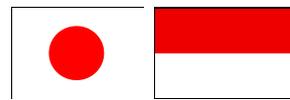


13. 男尊女卑、同性愛者異端扱いでない理由



- 神話の世界に登場する八百万の神々の頂点に居るのは、天照大御神と言う女性の神様です。
- 10世紀から11世紀の初めには、清少納言ならびに紫式部と言う女流作家が世界に先駆けて活躍しており、枕草子や源氏物語を世に残しています。
- 戦国時代の武将は、小姓と呼ばれる美男の若者に、戦場での身の回りの世話をさせ、男色の対象とするのが普通でした。
- キリスト教が広く普及せず、社会に根付かなかった日本では、欧米諸国のようなキリスト教に基づく、男尊女卑や同性愛者異端扱いは、ほとんど存在しなかったのです。





インドネシア進出サポート公式サイト

インドネシア進出準備から撤退までの要点を簡潔にまとめたサイトです
(Googleトップランキング)

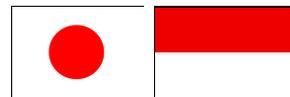
インドネシア最新情報ブログ

あらゆる分野での情報を毎日、どんなメディアよりも早く紹介しています

インドネシア進出サポートウェブセミナー

公式サイトに掲載されたセミナースライドサンプルの中から、ダウンロード件数の多いもの順に音声解説付きのスライドをアップロードしています

**愛する二つの祖国である、日本とインドネシアの発展のため、
全てのコンテンツは無料で公開されています**



ご清聴ありがとうございました
ここからは質疑応答です